

横浜旭中央総合病院・鶴川サナトリウム病院の訓練に参加

災害時訓練

2018年11月24・12月1日(土)



「災害看護」の授業の一環として、グループ病院で行われる災害時訓練に3年生が参加しました。東日本大震災以降毎年行われているもので、医師・看護師・事務職員など総勢100名以上の病院職員に学生を加え行われる大規模な訓練です。

学生たちは主に患者役を担います。重症から軽傷まで、またパニックを起こしたり急変したりとその設定はさまざま。リアルな創傷メイクを施し、各々迫真の演技で臨みます。混乱する現場の状況を肌で感じながら、災害時の看護を学ぶのです。

訓練を終え、学生からは「大丈夫でも時々声をかけてもらわないと不安になる」「知識がないと最善の処置やケアを選択できない怖さを感じた。」などの意見が聞かれました。いつどこで起きてもおかしくないと言われる災害。いざという時、その学びをいかせる看護師になってください。